

沖出しは必要か?

沖で釣りを楽しんでいる時に大津波警報が発令されたら? 沖出しか帰港か、判断に迷うところです。

昨年11月に神奈川県水難救済会の主催する訓練が、海保署や地元消防本部の協力を得て茅ヶ崎で実施されました。海辺から陸の避難場所へ逃げる訓練と合わせて、沖出しを試みる訓練も行われ、津波の到達時間10分を想定した上で巡視艇や船外機、水上バイクが流されたサーファーや遊泳者を救助した後、全速で水深100m以上の海域に向かいました。この訓練では、茅ヶ崎沖が急に深くなっていることから安全水域まで数分で到達できましたが、海岸線の地形や海底地形等で状況はガラリと変わります。水産庁が2006年に定めたガイドラインでは、陸上や港内にいる漁業者の沖出しを原則として禁じています。タイミングを誤ると逆に危険を招きかねない、という理由です。茅ヶ崎市でも基本は陸に逃げることであります。津波は陸地に近づくほどエネルギーが凝縮されて波高が高くなるため、波にのまれにくい沖へ避難する沖出しは有効な手段ですが、諸刃の剣にもなりかねません。各地域ごとに沖への避難の有効性を検証し、ルール作りを進める必要があります。船舶施設でも万一出船中のご利用者がいる場合は、出来る限りの情報提供と連絡を心がけてまいります。

今月のオススメ釣魚

【3月休日の潮回り】

3日(日)	7:36満潮(149)	14:28干潮(44)	小
10日(日)	9:42干潮(72)	15:29満潮(152)	大
17日(日)	6:59満潮(152)	13:48干潮(36)	中
20日(水)	9:06満潮(130)	17:15干潮(53)	小
24日(日)	9:13干潮(72)	15:02満潮(146)	中
31日(日)	6:26満潮(155)	13:14干潮(27)	中

【こんな魚が釣れてます】

相変わらずヒラメが好調、アジやイワシなど活餌釣りが主流ですが漁師さん並に“引っぱり”で獲る達人も。ホウボウ・カサゴも旬です。



安全航行しましょう!!

- 始業点検(ガソリン・主機・補機・船体・アンカー)
- 常備品(人数分ライフジャケット・信号紅炎・携帯電話・救命浮環・オール・ラジオ)
- 湾内徐行・漁網避難航行・天候注意・水上バイク注意・釣糸注意

今月のギャラリー



羽ばたくエイです(トビエイ)



芦名港から出航します(流し雛)

海の生物ワンポイント

トビエイ【トビエイ科】

不器用に泳ぐアカエイなどと違い、羽ばたくようにスピーディーに泳ぐエイです。冬は30~50mの砂泥底に潜み、初夏に産卵のため群泳します。尻尾の付根に鋭いトゲがあり危険なので、釣れてしまったら即リリースしましょう。

トピックス

3月3日は芦名にある淡島神社の祭礼です。芦名港から神職と巫女さんが船に乗り、流し雛を行います。「水が抜けるように安産」の願いを込め底抜けびしゃくの柄に麻を結んで奉納するしきたりは、市内の祭りの中で最も古くから行われており、民俗資料としても貴重な存在です。

メンテナンスしましょう

愛艇のメンテナンスが大切なのは当たり前ですが、意外に見落とししているのが船台です。艇同様にたつぷりと潮風を浴びているにもかかわらず、洗艇時に船台を洗われる方をお見かけしません。フレームやキャスターに水をかけるだけでもずいぶん違うものです。水洗いの後はキャスターの車軸部分やフロント首振り部分にたつぷりとグリス(スプレーでもOK)を塗布しましょう。フレームは目立ったサビを落とした後、塗装すると長持ちします。ボートキャリア移動中に破損する恐れがあるものは交換が必要です。船舶施設でも業者さんを紹介しております。

指定管理者からのお知らせ

盗難防止に努めましょう

船舶保管施設等指定管理者のパワー・フォワード・アソシエーションです。日毎に陽射しがまぶしくなり、春の訪れを感じる季節になりました。シーズンインも間近です。

先日、長井漁港や三戸浜の係留船が、船外機やガソリントankの盗難被害に遭いました。犯人は修理業者を装い事前に下見をするそうです。補機や備品、収納はしっかりロックをして防犯に努めるとともに、シーズン前点検を行いましょ。 お問合せは ☎ **0120-560982** (コールアキヤ)

今月の事故

接触等	0	件
主エンジン停止	0	件
ガス欠	0	件